

# 土曜講座

## 第1回岩松寺子屋「宝地院と 清水の滝」

平成22年度魅力ある学校づく

り

○日時 平成23年6月27日（月）13時10分～13時40分 ○場所 岩松小学校多目的室  
○講師 倉永叡宰さん（宝地院住職） ○テーマ「宝地院と清水の滝」 ○参加者 52名

6月11日が大雨のために、時期と場所を変更して開催しました。4，5，6年生の児童と教職員が倉永さんのとても分かりやすいお話に聞き入り、清水観音の歴史などを知ることが出来ました。



○内容（要旨）

- ・正式な名前は「見瀧寺清水観音」という。

- ・ 1200年前（803年）に比叡山から来られた聖命上人が立派な瀧のあるこの地にお寺を造られた。

- ・ お寺は栄えていたが、室町時代（1409年）に戦いがあって焼け野原になった。

- ・ 江戸初期、徳川家光の時代に鍋島勝茂の孫元茂が勝茂を清水に狩に誘った。清水の瀧に出てきた鹿に

矢を放ったところ鹿が観音様になった。それを見た勝茂はここに御堂を建てた（約350年前）。

- ・ 岩松校区は非常に文化財が多いところである。誇りに思っている。
- ・ 倉永叡宰住職も昭和24年に岩松小学校を卒業された。
- ・ 大隈重信の母君が清水観音を信仰されていたから、重信公も清水観音にお参りに来られている。